

政策提言書

～すべての人が輝ける長浜市に～

令和6年6月

長浜市議会 総務教育常任委員会

はじめに

総務教育常任委員会では、令和5年8月に「女性活躍に関するアンケート」活動に取り組み、市民の方から様々なご意見を伺いました。それらも十分に踏まえながら、『女性活躍推進』＝『すべての人が輝ける社会に』という観点で、政策提言をさせていただきます。現在も、男女共同参画を推進されているところですが、それをさらに強力に押し進めるという立場で、これらの提言を具現化されることを切に求めるものです。

家事育児、職場、地域において、男女ともに協力し合い、各人の力が発揮でき、すべての人が生き生きと活躍できる社会環境の整備をすすめていくことが必要であると考えます。社会情勢の変化とともに、取り組むべき内容や課題が変化すると思いますので、時代を見越した積極的な取組を求めます。

総務教育常任委員会からの提言

1. 意識改革などの啓発活動

- (1) 男性の家事育児参加の推進
(世代間交流会、育休取得の推進、男性の家事育児教室の開催等)
- (2) 社会や他者との交流が少ない人の意見や声を聞く場の設定
(出産育児・介護などで家庭に専念している人、しょうがいをもつ人、外国籍の人など)
- (3) 家事を担う性役割分担意識（主人奥様などの言葉づかいも含め）の見直し

2. 一層の保育サービスの充実

- (1) すべての希望者の入園
- (2) 第2子・第3子等出産後の上の子の保育園退所の改善（育休期間の退所条件の見直し）
- (3) 病児保育や休日夜間保育の整備充実

3. 一層の子育て支援の充実

- (1) ひとり親家庭への生活支援（家賃補助等）
- (2) 放課後児童クラブの整備充実
- (3) 児童手当の支給先について、各家庭の申告制への変更
- (4) 妊娠出産子育て時の生活支援（出産費用への補助や職場復帰までの賃金の一定保障）

4. 社会環境や労働環境の整備への啓発活動

- (1) 出産育児休暇が取りやすい（男性の育休取得も含め）職場環境の実現
- (2) 妊娠出産時の生活保障
- (3) 地域活動への参加ができるような長時間労働の解消

5. 地域活動における環境整備への支援と啓発活動

- (1) 役員等の選出システムの改善（女性も選ばれる、誰でも可能な地域活動）
- (2) 地域活動における役割分担の見直し（男性は中心的役割を担い、女性はお茶出しなどまかない中心を当然とする風潮など）

参考資料：総務教育常任委員会資料より

「女性活躍の推進について」市民アンケートに対する報告（評価とまとめ）

128人（女性/73人：57%、男性/53人：41%、その他2名：1%）のみなさんから多くの様々な意見をいただき、ご協力ありがとうございました。女性の立場からだけでなく、男性からも違った角度からご意見をいただきありがとうございました。

評価

1. 「女性活躍の推進」に関し、5割近くが「満足」「やや満足」と回答していただいております、一定の取組成果が出ている面や、意識の変化、格差是正が進んだところが評価されているのではと感じます。一方で半数の方が「そうではない」という回答をされており、まだまだ不十分であるとの指摘だと考えます。
2. その中で特に「地域活動」に関しては、「満足」「やや満足」が25%と少なく、「やや不満」「不満」が30%を超え他と比較し割合が大変高いのが特徴です。地域活動においては、高齢世代の意識が反映されやすい場であるため、男女の性別役割分担意識がまだ強く残っており、大きな課題と考えられます。
3. 「職場」や「学校」では、「満足」「やや満足」が35%ぐらいで、「地域」よりは増え、「やや不満」「不満」が10~15%と少なく、一定、男女共同参画が進んだと考えられます。
4. 全体的に「どちらとも言えない」が、4割から5割近くを占め、判断が十分でないことや、それほど意識されなくなっている可能性もあるのではと思います。
5. 「職場」の中での女性活躍の推進で、行政機関に必要と思われる項目の多いのは、①職場環境の改善、②育休制度等の改善、③情報提供 でした。次いで④啓発、⑤研修と続き、要望は強いものがあります。
6. 全体を通じての行政機関の取組の必要性については、①人材育成、②専門的組織の設置が挙げられています。

まとめ

半数以上の方が課題を感じていることが伺え、男女共同参画に向けて更なる推進が求められるものです。また、「女性活躍」という言葉に、抵抗や疑問を感じる人が少なくないことも、自由記述に出ていた特徴です。従って、今後は「女性活躍」というキーワードで考えていくのではなく、『男女共同参画』『すべての人が輝ける社会に』などの、性別を超えた表現が相応しいのではないのでしょうか。家事育児、職場、地域において、男女ともに協力し合い、各人の力が発揮でき、すべての人が生き生きとできる社会環境の整備をすすめていくことが必要です。

総務教育常任委員会では、そうした分析を踏まえ、市当局に、このような政策提言をしていくものです。社会情勢の変化とともに、取り組むべき内容や課題が変化しますが、今後と

もご意見を賜りますことをお願いして、報告とさせていただきます。

その他自由意見

- ・若い子育て議員や女性議員が活躍できる環境整備を
- ・女性という性について考えなくても仕事や育児ができる社会になるように
- ・性別や年齢で活躍をしばるような政策は不要
- ・市役所内の部長職や市議会議員の男女割合を半々にすることを強制的に決めた方がよい
- ・「活躍」の意味やイメージを今一度考えて、具体的に教えてほしい
- ・誰でも理解出来る議会運営を
- ・今回のアンケートは大変女性活躍に向けて良い取組だ
- ・活躍＝プレッシャーを感じる。今生きているだけで十分だと言うことを伝えていく方が、みんなにとって生きやすい社会になる
- ・女性が萎縮することのないように、のびのび仕事ができる環境を
- ・ある程度の情報提供をアンケート内で行うべきだったのでは
- ・女性管理職を当たり前にしていく
- ・非正規（臨時職員）にも育休制度を
- ・社内託児所がほしい
- ・扶養基準額（収入限度額）の引き上げ

長浜市議会 総務教育常任委員会

委員長 鋒山紀子

副委員長 高山亨

委員 大橋延行 押谷正春 北川陽大 松本長治